

令和7年度若年技能者人材育成支援等事業 実施状況報告

令和8年1月13日
青森県技能振興コーナー

実施計画	実施状況
<p>1 ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務</p> <p>(1) ものづくりマイスターの開拓 企業、業界団体の訪問等により、ものづくりマイスター候補者に係る情報収集等(掘り起こし)を行い、新規認定者の拡大を図る。</p> <p>(2) ものづくりマイスターへの説明 認定を受けたものづくりマイスターに対して、実技指導等に当たる前に、指導技法等講習を受講する必要がある旨を周知する。</p> <p>(3) 申請書類等の取りまとめ ものづくりマイスター候補者の認定申請書の作成支援を行うとともに、申請書類を取りまとめて中央技能振興センター(以下、「センター」という。)へ報告する。</p> <p>(4) ものづくりマイスターに対する研修 新たに認定されたものづくりマイスターに対して、センターが準備する教材を活用して指導技法等講習を実施する。また、センター主催「講師養成研修」及び「事例発表・意見交換会」へものづくりマイスターの参加勧奨を行い、ものづくりマイスターによる指導技能の均一化を図る。</p>	<p>ものづくりマイスター認定対象職種に、ビルクリーニング、フラワー装飾、日本料理等の職種が加わったことから、関係団体長を訪問するなど、制度の趣旨説明を行い、新規認定者の拡大に取り組んだ。</p> <p>職業訓練指導員免許を有しないものづくりマイスター被認定者については、指導技法等講習を受講する必要がある旨、説明を行った。</p> <p>ものづくりマイスター候補者の元へ出向き、聞き取りを行い、認定申請書の作成を支援した。認定申請書類については、年度内3回の申請締め切りに合わせ、センターへ提出した。なお、今年度は、現時点でフラワー装飾6名、建築板金4名、菓子製造1名、日本料理1名、ビルクリーニング1名の13名が認定を受けた。また、現在、内装仕上げ施工&表装のダブル申請1名、菓子製造1名が認定申請中である。</p> <p>新規に認定されたものづくりマイスター等を対象に、指導技法等講習を9月2日(火)に八戸市「八戸地域職業訓練センター」で開催し、8名が受講した。なお、センター主催の研修等へは不参加であった。</p>
<p>2 ものづくりマイスターの活用に係る業務</p> <p>(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等 教育機関を対象にものづくりマイスターの派遣希望調査等を行い、ニーズの把握に努め、実技指導等のコーディネートを行う。</p> <p>(2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施 上記派遣希望調査の回答に基づき、ものづくりマイスターの派遣について調整を行い、指導を実施する。</p>	<p>関係高校22校及び大学2校へ派遣希望調査を行った。また、青森県職業能力開発協会及び青森県技能士会会員に対して通常総会を通じて周知を行った。</p> <p>希望調査の回答結果に基づき、ものづくりマイスターと調整を図り、派遣を実施した。また、当日の指導を円滑に行うため、一部の指導においては学校担当者、ものづくりマイスター、当コーナーの三者で事前打ち合わせを行った。</p>

実施計画	実施状況
<p>(3)若者に対する「ものづくりの魅力」発信 ア 地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対する「ものづくりの魅力」発信 県内の若者サポートステーションからの要請に基づき、指導可能なものづくりマイスターの情報提供を行い、要望があった場合に派遣を行う。 イ 小中学校等の児童・生徒に対する「ものづくりの魅力」発信 県内の小中学校等からものづくり体験指導の依頼があった場合に、ものづくりマイスターの派遣を行う。</p> <p>ウ 公民館・集会所等の公共施設又はショッピングモール等民間施設のイベントエリア等における「ものづくりの魅力」発信</p> <p>(4)熟練技能者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信事業の実施 ものづくりマイスター認定職種以外に指導の要望があった場合は、熟練技能者の資格要件に基づき派遣を行う。</p>	<p>[派遣校内訳及び回数] 青森県立弘前工業高等学校:20回 青森県立青森工業高等学校:14回 青森県立五所川原工科高等学校:3回 青森県立八戸工業高等学校:3回 青森県立むつ工業高等学校:1回 青森県立五所川原農林高等学校:9回 青森県立名久井農業高等学校:2回 青森県立三本木農業恵拓高等学校:1回 青森県立百石高等学校:3回 青森県立青森商業高等学校:2回 [合計]10校 [受講者数]850名</p> <p>現時点で、要望無し。</p> <p>ものづくりマイスター派遣依頼書に基づき、派遣希望のあった高等支援学校及び小中学校へのものづくりマイスター派遣を行った [派遣校内訳及び回数] 青森県立八戸高等支援学校:2回 弘前市立北辰中学校:3回 東北町立甲地小学校:2回 五所川原市立松島小学校:1回 東北町立上北小学校:1回 [合計]5校 [受講者数]234名 「水のほとりの体験学校」、「サイエンスフェスティバル2025」、「南部夜市」において、ものづくり体験指導を実施した。[3会場合計受講者数:195名]</p> <p>ものづくりフェア2025inヒロロを11/8(土)・11/9(日)弘前市「ヒロロ3階イベントスクエア」において開催し、12職種の団体の熟練技能者によるものづくり体験指導を実施。来場者約800名、体験者は472名超であった。</p>
<p>3 地域における技能振興事業</p> <p>(1)技能五輪全国大会の予選の実施等 ア 技能五輪全国大会の予選の実施 県内の高校生等を対象に県予選を行い、選手選抜を行うとともに、若手技能者の技能向上及び育成促進を図る。 イ 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 参加選手とその指導者の旅費並びに工具等の運搬費の援助を行い、大会参加を促進する。</p>	<p>青森山田高校の生徒を主に予選を開催する計画であったが、参加者が集まらず開催中止となった。</p> <p>①若年者ものづくり競技大会 6職種に選手9名、指導者5名の旅費と工具運搬費の援助を行った。 ②技能五輪全国大会 4職種に選手6名、指導者2名の旅費と工具運搬費の援助を行った。</p>

実施計画	実施状況
<p>(2)卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援 令和7年度の被表彰者に対して取材を行い、取材結果をセンターに提出する。</p>	<p>左記コンテンツ「現代の名工Navi」に掲載予定の被認定者2名(建築大工、木製家具・建具製造工)に対して取材を行い、センターへデータを提出した。</p>
<p>4 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営</p> <p>(1) 連携会議の設置</p> <p>(2) 都道府県労働局との連携</p>	<p>[構成委員] (一社)青森県工業会、青森労働局、(独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構青森支部、青森県教育庁学校教育課、青森県高等学校長協会工業部会、青森県産業イノベーション推進課、青森県技能士会</p> <p>[会議開催] 第1回目:6月24日(火)、第2回目:12月22日(月)</p> <p>[会議内容] 第1回目:令和7年度若年技能者人材育成支援等事業の概要及び推進計画(案)について等 第2回目:令和7年度若年技能者人材育成支援等事業の実施状況について等</p> <p>ものづくりマイスターを活用した連携事業の実施は無し。</p>